



検数労連

478号
〒144-0052 東京都大田区蒲田5-10-2 日港
福会館5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



4月22日(水)第9回 検数労連15春闘交渉 10:30~11:20

**全地域からの『批准』『一任』を受け、
本日の交渉をもって正式に妥結を表明する。**



《各地域闘争委員会からの意見》

【全日検】

- ①職員Aの賃上げが港湾相場を確保したことは評価する。
- ②職員Bの賃上げが昨年を上回り評価する。
- ③要求額との関係では低額であり不満。
- ④職員A・Bの格差は正に向け、賃金統一の継続的協議の取り組みが必要である。
- ⑤56才以上の年齢格差回答には不満。

【日検協会】

- ①賃金是正を特別昇給として単年度で対応したことについては評価する。
- ②要求額との関係では低額であり不満。
- ③港湾相場（7,500円）に到達しておらず不満。
- ④年齢によっては昨年比を下回り不満。
- ⑤産別最賃の改定に伴い初任給が改定されなかったことは不満。
- ⑥31才～55才までの年齢調整が過去4年間との比較で減額となっており不満。
- ⑦特別昇給という回答は不適切であり、賃金是正と捉えるべきである。

4月22日(水)第9回検数労連15春闘交渉で、左記の通りの意見は出されたものの、各地域より『批准』または『一任』を受けたことにより、現到達をもつて『妥結』の態度表明を行ないました。組合は妥結にあたり、要旨、次のとおり『妥結の態度表明』を行ないました。

15春闘の妥結表明にあたり、要求との関係では不満が残るものの中を現到達をもつて『妥結』を表明する。

15春闘では、全国各地において『職場懇談会開催』を主眼に置き行動を提起してきた。3月中に開催してきた懇談

会では、多数の地域から報告書が中央に寄せられるなど取り組みの成果が労使の中に確実に浸透してきた。

報告の中で全国的な共通点として、喫緊の課題である次代を担うべく『人材育成の取り組み』や『検数事故防止』『労災事故撲滅に向けた安全対策等』を重点に位置付け、そのうえで現在の検数情勢を全体で理解していくことが安定した企業への最大の近道であることを労使共通認識としてきた。

賃上げについては、全国から様々な意見や不満が指摘された。両協会に対しても、分母変更は一定評価するが、要求額と

賃金引上げ分が港湾相場を確保したことによる評価するとの意見が大勢を占めた。また、今後の重要案件として職員A・Bの賃金統一に向けた、賃金検討委員会での継続協議の重要性が指摘された。

日検協会に対しては、賃金是正を特別昇給として単年度で対応したことについては一定評価するが、額的に全国平均で港湾相場に未到達、産別最賃改定に伴う初任給の未改定が大きな不満として指摘された。

今後、両協会ともに安定した賃金引上げの実施と産別協定履行などの課題が山積しており、引き続き、企業内で賃金や働き方などを協議検討する場において、課題の前進に向けた真摯な労使協議の場を求める。全組合員が協会を取り巻く現状を正しく理解するためにも組合方針である『仕事と収入の確保』運動と、両協会が取り組んでいる『品質向上』等をリンクさせながらの『職場懇談会』の実施については、通年課題と位置付けて取り組むよう求める。

**未解決組合支援の為に、産別の総団結！
全国港湾は闘争の再構築を決意！！
23日、日港協に対し行動を通知！！**